

4.7 アトム誕生前後

④ 夫・早大理工学部ヒューマノイド研究教授が、「コンピュータの処理速度次第」(ホンダ)と、道筋が見えている課題といえる。

「アトム」の夢を目指すヒューマノイド(ヒト型ロボット)は①滑らかに二本足で歩くための機械的技術②速度やバランスなど運動関係の制御技術③認識、判断、記憶をつかさどる「知能」の総合体だ。



①に因しては、ホンダのアシモやソニーのSDR-4Xの例もあり、「機械的にはかなり完成してきた」(ホンダ)。「砂利道や滑りやすい道を歩いたり、揺れる電車内で安定して立つなどの制御技術(②)は改

善の余地が多い(高西淳) 夫・早大理工学部ヒューマノイド研究教授が、「コンピュータの処理速度次第」(ホンダ)と、道筋が見えている課題といえる。

次ステップとして注目されているのが③で、人間の目や耳、脳に当た設計2部統

ボットカン パニー開発

「見る・聞く」だが、理化学研究所科学総合研究センターの市川道教・チームリーダーは「今の技術では、光の濃淡や視点が変わることによる『見え方』の逆並みに理解するのは

「地球上の全コンピューターを動員しても無理」(市川氏)といい、技術の飛躍が必要だ。そして脳の部分。ロボ

「地球上の全コンピューターを動員しても無理」(市川氏)といい、技術の飛躍が必要だ。そして脳の部分。ロボ

「地球上の全コンピューターを動員しても無理」(市川氏)といい、技術の飛躍が必要だ。そして脳の部分。ロボ

「地球上の全コンピューターを動員しても無理」(市川氏)といい、技術の飛躍が必要だ。そして脳の部分。ロボ

世間の物や音を理解するには技術の「飛躍」が必要

夢を目指し人型ロボット開発は続く

「地球上の全コンピューターを動員しても無理」(市川氏)といい、技術の飛躍が必要だ。そして脳の部分。ロボ

「地球上の全コンピューターを動員しても無理」(市川氏)といい、技術の飛躍が必要だ。そして脳の部分。ロボ

「地球上の全コンピューターを動員しても無理」(市川氏)といい、技術の飛躍が必要だ。そして脳の部分。ロボ

「地球上の全コンピューターを動員しても無理」(市川氏)といい、技術の飛躍が必要だ。そして脳の部分。ロボ

「知能」だけではなく「感情」を持たせようとする試みもあり、高西教授は「感情」を数式に置き換え、プログラム化する研究を行っている。市川氏は「この先ロボットがどんどん賢くなる、人間の想定以上に賢くなり、制御できる範囲を超えてしまう可能性もある」と指摘する。

元グループディレクター 竹岡伸晃